

# 特別防衛監察の結果について

平成30年9月11日  
防衛省防衛監察本部

## 【 目 次 】

第 1	はじめに	1
第 2	対象項目	1
第 3	対象機関等	1
第 4	監察実施の概要	1
1	全般	
2	アンケート調査	
3	現場等確認	
4	面談	
第 5	監察結果	3
1	全般	
2	5. 5 6 mm 普通弾誤射事案に係る再発防止策の遵守状況	
3	関係規則の遵守状況	
4	管理者等の再発防止に対する意識等	
第 6	改善策等	7
第 7	終わりに	7
別紙第 1	アンケート調査対象機関等一覧	8
別紙第 2	現場等確認・面談対象機関等一覧	19

## 特別防衛監察の結果について

### 第1 はじめに

この報告は、陸上・海上・航空の各自衛隊における武器・弾薬の適正な管理に関し、防衛大臣の命を受け、平成28年7月11日から実施している特別防衛監察について、その結果を取りまとめたものである。

### 第2 対象項目

本特別防衛監察の対象項目は、「武器・弾薬の適正な管理の状況」であり、当該項目について以下の観点から監察を実施した。

- 1 関係規則及び5. 56mm普通弾誤射事案に係る再発防止策の遵守状況
- 2 管理者等の再発防止に対する意識

### 第3 対象機関等

陸・海・空幕僚監部、陸・海・空自の部隊及び機関等

### 第4 監察実施の概要

#### 1 全般

- (1) 平成28年7月11日から特別防衛監察を実施し、陸自において5. 56mm普通弾誤射事案に係る再発防止策（以下「陸自再発防止策」という。）の遵守状況を、陸・海・空自において、小火器及び小火器用弾薬を中心に武器・弾薬管理関係規則の遵守状況及び管理者や各級指揮官（以下「管理者等」という。）の同種事案の再発防止に対する意識を確認するため、以下の事項を実施した。

ア アンケート調査

イ 現場等確認

#### ウ 面談

- (2) 平成28年12月、「防衛省5.56mm普通弾誤射事案に関する再発防止等検証委員会」（以下「検証委員会」という。）※による検証結果が公表され、「5.56mm普通弾誤射事案に関する再発防止等の徹底について（通達）」（防防訓（事）第460号。28.12.26）（以下「事務次官通達」という。）により、この検証結果を全自衛隊内で共有し、教育の資とするよう示された。

これを受けて、本特別防衛監察においても、対象項目に加えて、陸・海・空自における同種事案の再発防止の教育・指導が実施されていることを確認するため、以下の事項を実施した。

#### ア 現場等確認

#### イ 面談

※ 平成28年6月20日、5.56mm誤射事案を受けて、自衛隊全体の武器・弾薬の管理及び使用の実態等を検証し、自衛隊全体における再発防止策を統一的に実施すること等を目的に、防衛副大臣を委員長として設置されたもの。

## 2 アンケート調査

- (1) 陸自の全ての方面隊から抽出した隊員20,058名に対して、5.56mm普通弾誤射事案に係る陸自再発防止策の遵守状況についてアンケート調査を実施した。
- (2) 陸・海・空自の隊員から抽出した34,121名に対して、武器・弾薬管理関係規則の遵守状況についてアンケート調査を実施した（別紙第1「アンケート調査対象機関等一覧」のとおり。）。

## 3 現場等確認

- (1) 陸自の29対象機関等において、武器・弾薬の保管状況及び弾薬

の請求、交付及び受領状況を含む陸自再発防止策の遵守状況を現場で確認するとともに、関係規則、弾薬請求書類、各種点検等簿冊及び教育資料等の確認を実施した。

- (2) 陸自の29対象機関等、海自の14対象機関等及び空自の11対象機関等において、武器・弾薬管理関係規則の遵守状況を現場で確認するとともに、各種点検等簿冊及び教育資料等、武器・弾薬管理関係書類の確認を実施した。
- (3) 陸自の12対象機関等、海自の12対象機関等及び空自の10対象機関等において、同種事案の再発防止の教育・指導状況の確認を現場で実施した（別紙第2「現場等確認・面談対象機関等一覧」のとおり。）。

#### **4 面談**

- (1) 陸自の現場等確認対象機関等において抽出した、管理者等を含む武器・弾薬管理関係隊員188名に対して、面談により、陸自再発防止策の遵守状況の確認を実施した。
- (2) 陸・海・空自の現場等確認対象機関等において抽出した、管理者等を含む武器・弾薬管理関係隊員306名に対して、面談により、関係規則の遵守状況及び同種事案の再発防止に対する意識の確認を実施した。
- (3) 陸・海・空自の現場等確認対象機関等において抽出した、管理者等を含む武器・弾薬管理関係者135名に対して、面談により、同種事案の再発防止の教育・指導状況の確認を実施した。

### **第5 監察結果**

#### **1 全般**

アンケート調査、現場等確認及び面談により、以下の状況を確認した。

(1) 陸自の5. 56mm普通弾誤射事案に係る再発防止策の遵守状況

陸自において、陸自再発防止策である、①陸上幕僚監部等による現況把握・指導の継続、②弾薬請求要領に関する教育の徹底及び電算機のシステム改修、③弾薬交付・受領時における点検の確実な実施及び空包と実弾の識別を容易にする紙箱等への着色、④弾薬の使用要領に関する教育の徹底及び弾薬を使用した訓練機会の増加等、について遵守されていることを確認した。

(2) 陸・海・空自の関係規則の遵守状況及び管理者等の再発防止に対する意識

陸・海・空自の一部の対象機関等において、小火器の管理状況に不十分な点が認められたほかは、関係規則を遵守し、適切に業務を遂行している状況を確認した。また、管理者等が同種事案の再発防止に対する意識を保持し、必要な教育・指導を徹底している状況を確認した。

## 2 5. 56mm普通弾誤射事案に係る再発防止策の遵守状況

(1) 全般

陸自において、陸自再発防止策が遵守されている状況を確認した。さらに、多くの対象機関等において、独自の教育資料の追加作成・掲示及び強化期間の設定等、対象機関等の特性に応じた施策を加えて実施していることを確認した。

(2) 陸自再発防止策各項目の遵守状況

ア 陸上幕僚監部等による現況把握・指導の継続

陸上幕僚監部等による必要な現況把握・指導が、継続して実施されている状況を確認した。

イ 弾薬請求要領に関する教育の徹底及び電算機システムの改修

(ア) 電算機入力上の注意事項、請求受領側から使用目的を確認可

能にするための弾薬請求書類への使用目的の記載や、空包と実弾の弾薬請求書類を別葉にする等についての通達が発出されたことを確認するとともに、弾薬請求に携わる隊員に対して電算機の操作についての必要な教育が実施されている状況を確認した。

- (イ) 電算機への誤入力を防止するため、最初に空包と実弾を選択し、最終確認画面において空包と実弾の別を表示する注意画面の機能を追加する等の必要なシステム改修が終了していることを確認した。

#### ウ 弾薬交付・受領時における点検の確実な実施

- (ア) 弾薬を受領する隊員への事前教育の実施、弾薬受領時の弾種、数量及び状態等の確認等、実施すべき事項を明記した通達が発出されたことを確認した。
- (イ) 空包と実弾の識別が容易となるよう、空包が入った紙箱及び弾薬を収納する木箱に着色が実施されている状況を確認した。
- (ウ) 受領責任者の指定基準及び交付・受領時における現物確認要領等に係る規則等の改正が実施されていることを確認するとともに、空包入の紙箱等の色の変更及びそれに伴う教範類の改正については、通達を発出し、改正の方向性について周知徹底を図っていることを確認した。

#### エ 弾薬の使用要領に関する教育訓練の徹底

- (ア) 空包及び実弾を使用する訓練の実施時に、空包と実弾の差異等に関する事前教育についての通達が発出されていることを確認した。
- (イ) 弾薬を使用した訓練機会が対象機関等において5. 56mm 普通弾誤射事案発生前に比し増加している状況及び訓練に対応した弾薬・演習場等の確保が図られている状況を確認した。
- (ウ) 弾薬の請求・交付要領等について、基本教育や部隊における

集合訓練等が実施されている状況を確認した。

(エ) 射撃訓練の機会が限られる普通科以外の部隊において、普通科部隊が行う訓練の研修が実施されている状況を確認した。

(3) 陸自再発防止策の遵守に係る懸案事項

調査において、以下の状況を確認した。

ア 空包と実弾の取り違えについて、「自分には起こり得ないこと」、「自分の部隊ではあり得ないこと」と回答した隊員が一部見られた。

イ 隊員に対する教育において、主として講義形式の教育が行われ、事案を自らのことに置き換えることなく知識として保持するにとどまっている状況が一部に見られた。

### 3 関係規則の遵守状況

陸・海・空自の一部の対象機関等において、小火器の管理状況に不十分な点が認められたほかは、関係規則を遵守し、適切に業務を遂行している状況を確認した。

### 4 管理者等の再発防止に対する意識等

陸・海・空自の管理者等が同種事案の再発防止に対する意識を保持し、以下のとおり、必要な教育・指導を徹底している状況を確認した。

(1) 平成28年5月の5.56mm普通弾誤射事案発生直後から、陸・海・空自においてそれぞれ、同種事案の再発防止のための教育が適宜実施されている状況を確認した。

(2) 事務次官通達が発出された平成28年12月以降、検証委員会の検証結果等を有効に活用し、陸・海・空自における同種事案の再発防止のための教育・指導が実施されている状況を確認した。

## **第6 改善策等**

引き続き検証委員会の検証結果等を有効に活用し、武器の取り扱いについては、隊員一人一人が不断の意識改革に努め、武器・弾薬の適切な管理及び使用の一層の徹底を図るべく、陸・海・空自における同種事案の再発防止のための教育・指導を実施することが必要である。

## **第7 終わりに**

武器・弾薬の適正な管理は、国民の信頼を得て、全自衛隊が任務を完遂する上で、極めて重要であり、その適正性の確保に万全を期さなければならない。

今後も、防衛監察本部は、全自衛隊における武器・弾薬の管理状況について、定期防衛監察等において継続的に調査及び検査する。

## アンケート調査対象機関等一覧

## 1 5. 56mm普通弾誤射事案に係る再発防止策に関する調査

## (1) 隊員数

20,058名

## (2) 対象機関等

対象機関等	
陸上幕僚監部	
北 部 方 面 隊	北部方面総監部、 第2師団、第7師団、第5旅団、第11旅団、 第1特科団、第1高射特科団、第3施設団、 北部方面混成団、北部方面航空隊、北部方面後方支援隊、 北部方面通信群、第1電子隊、北部方面会計隊、 北部方面衛生隊、北部方面指揮所訓練支援隊、 北部方面対舟艇対戦車隊、北部方面情報隊、 北部方面総監部付隊、北部方面音楽隊、 名寄駐屯地業務隊、留萌駐屯地業務隊、遠軽駐屯地業務隊、 旭川駐屯地業務隊、滝川駐屯地業務隊、 上富良野駐屯地業務隊、美幌駐屯地業務隊、 別海駐屯地業務隊、美唄駐屯地業務隊、釧路駐屯地業務隊、 岩見沢駐屯地業務隊、札幌駐屯地業務隊、 真駒内駐屯地業務隊、北千歳駐屯地業務隊、 東千歳駐屯地業務隊、帯広駐屯地業務隊、 鹿追駐屯地業務隊、北恵庭駐屯地業務隊、 南恵庭駐屯地業務隊、幌別駐屯地業務隊、 倶知安駐屯地業務隊、静内駐屯地業務隊、 函館駐屯地業務隊

対象機関等	
東北方面隊	<p>東北方面総監部、  第6師団、第9師団、  第2施設団、東北方面混成団、東北方面特科隊、  東北方面航空隊、東北方面後方支援隊、第5高射特科群、  東北方面通信群、東北方面会計隊、東北方面衛生隊、  東北方面指揮所訓練支援隊、東北方面情報処理隊、  東北方面総監部付隊、東北方面音楽隊、  青森駐屯地業務隊、弘前駐屯地業務隊、八戸駐屯地業務隊、  岩手駐屯地業務隊、霞目駐屯地業務隊、多賀城駐屯地業務隊、  大和駐屯地業務隊、仙台駐屯地業務隊、船岡駐屯地業務隊、  秋田駐屯地業務隊、神町駐屯地業務隊、福島駐屯地業務隊、  郡山駐屯地業務隊</p>
東部方面隊	<p>東部方面総監部、  第1師団、第12旅団、  第1施設団、東部方面混成団、東部方面航空隊、  東部方面後方支援隊、第2高射特科群、東部方面通信群、  東部方面会計隊、東部方面衛生隊、  東部方面指揮所訓練支援隊、東部方面情報処理隊、  東部方面総監部付隊、東部方面音楽隊、  霞ヶ浦駐屯地業務隊、古河駐屯地業務隊、  宇都宮駐屯地業務隊、相馬原駐屯地業務隊、  新町駐屯地業務隊、大宮駐屯地業務隊、習志野駐屯地業務隊、  木更津駐屯地業務隊、練馬駐屯地業務隊、  東立川駐屯地業務隊、立川駐屯地業務隊、座間駐屯地業務隊、  武山駐屯地業務隊、新発田駐屯地業務隊、高田駐屯地業務隊、  北富士駐屯地業務隊、松本駐屯地業務隊、  滝ヶ原駐屯地業務隊、駒門駐屯地業務隊、板妻駐屯地業務隊</p>

対象機関等	
中部方面隊	<p>中部方面隊總監部、  第3師団、第10師団、第13旅団、第14旅団、  第4施設団、中部方面混成団、中部方面航空隊、  中部方面後方支援隊、第8高射特科群、中部方面通信群、  中部方面会計隊、中部方面衛生隊、  中部方面指揮所訓練支援隊、中部方面情報隊、  中部方面總監部付隊、中部方面音楽隊、  金沢駐屯地業務隊、春日井駐屯地業務隊、守山駐屯地業務隊、  豊川駐屯地業務隊、久居駐屯地業務隊、今津駐屯地業務隊、  大津駐屯地業務隊、福知山駐屯地業務隊、  大久保駐屯地業務隊、八尾駐屯地業務隊、  信太山駐屯地業務隊、伊丹駐屯地業務隊、千僧駐屯地業務隊、  青野原駐屯地業務隊、姫路駐屯地業務隊、米子駐屯地業務隊、  出雲駐屯地業務隊、日本原駐屯地業務隊、  海田市駐屯地業務隊、山口駐屯地業務隊、徳島駐屯地業務隊、  善通寺駐屯地業務隊、松山駐屯地業務隊、高知駐屯地業務隊</p>
西部方面隊	<p>西部方面隊總監部、  第4師団、第8師団、第15旅団、  第2高射特科団、第5施設団、西部方面混成団、  西部方面特科隊、西部方面後方支援隊、  西部方面普通科連隊、西部方面通信群、西部方面会計隊、  西部方面衛生隊、西部方面指揮所訓練支援隊、  西部方面情報隊、西部方面總監部付隊、西部方面音楽隊、  福岡駐屯地業務隊、小倉駐屯地業務隊、飯塚駐屯地業務隊、  小郡駐屯地業務隊、久留米駐屯地業務隊、  相浦駐屯地業務隊、大村駐屯地業務隊、竹松駐屯地業務隊、  健軍駐屯地業務隊、北熊本駐屯地業務隊、  別府駐屯地業務隊、湯布院駐屯地業務隊、  玖珠駐屯地業務隊、えびの駐屯地業務隊、  都城駐屯地業務隊、川内駐屯地業務隊、国分駐屯地業務隊、  那覇駐屯地業務隊</p>
中央即応集団	

対象機関等

通信団、警務隊、中央情報隊、  
陸上自衛隊中央業務支援隊、陸上自衛隊中央会計隊、  
陸上自衛隊会計監査隊、陸上自衛隊中央輸送業務隊、  
中央音楽隊、中央管制気象隊、自衛隊情報保全隊、  
自衛隊体育学校、陸上自衛隊幹部学校、  
陸上自衛隊幹部候補生学校、陸上自衛隊富士学校、  
陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊施設学校、  
陸上自衛隊通信学校、陸上自衛隊武器学校、  
陸上自衛隊需品学校、陸上自衛隊輸送学校、  
陸上自衛隊小平学校、陸上自衛隊衛生学校、  
陸上自衛隊化学学校、陸上自衛隊高等工科学校  
陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊補給統制本部、  
自衛隊中央病院、自衛隊札幌病院、自衛隊仙台病院、  
自衛隊富士病院、自衛隊阪神病院、自衛隊福岡病院、  
自衛隊熊本病院、自衛隊別府病院、  
自衛隊札幌地方協力本部、自衛隊旭川地方協力本部、  
自衛隊函館地方協力本部、自衛隊帯広地方協力本部、  
自衛隊青森地方協力本部、自衛隊岩手地方協力本部、  
自衛隊宮城地方協力本部、自衛隊秋田地方協力本部、  
自衛隊山形地方協力本部、自衛隊福島地方協力本部、  
自衛隊茨城地方協力本部、自衛隊栃木地方協力本部、  
自衛隊群馬地方協力本部、自衛隊埼玉地方協力本部、  
自衛隊千葉地方協力本部、自衛隊東京地方協力本部、  
自衛隊神奈川地方協力本部、自衛隊新潟地方協力本部、  
自衛隊富山地方協力本部、自衛隊石川地方協力本部、  
自衛隊福井地方協力本部、自衛隊山梨地方協力本部、  
自衛隊長野地方協力本部、自衛隊岐阜地方協力本部、  
自衛隊静岡地方協力本部、自衛隊愛知地方協力本部、  
自衛隊三重地方協力本部、自衛隊滋賀地方協力本部、  
自衛隊京都地方協力本部、自衛隊大阪地方協力本部、  
自衛隊兵庫地方協力本部、自衛隊奈良地方協力本部、  
自衛隊和歌山地方協力本部、自衛隊鳥取地方協力本部、  
自衛隊島根地方協力本部、自衛隊岡山地方協力本部、  
自衛隊広島地方協力本部、自衛隊山口地方協力本部、

対象機関等
自衛隊徳島地方協力本部、自衛隊香川地方協力本部、 自衛隊愛媛地方協力本部、自衛隊高知地方協力本部、 自衛隊福岡地方協力本部、自衛隊佐賀地方協力本部、 自衛隊長崎地方協力本部、自衛隊熊本地方協力本部、 自衛隊大分地方協力本部、自衛隊宮崎地方協力本部、 自衛隊鹿児島地方協力本部、自衛隊沖縄地方協力本部

## 2 関係規則の遵守状況に関する調査

### (1) 陸上自衛隊

#### ア 隊員数

24,619名

#### イ 対象機関等

対象機関等	
陸上幕僚監部	
北部方面 隊	北部方面総監部、 第2師団、第7師団、第5旅団、第11旅団、 第1特科団、第1高射特科団、第3施設団、 北部方面混成団、北部方面航空隊、北部方面後方支援隊、 北部方面通信群、第1電子隊、北部方面会計隊、 北部方面衛生隊、北部方面指揮所訓練支援隊、 北部方面対舟艇対戦車隊、北部方面情報隊、 北部方面総監部付隊、北部方面音楽隊、 名寄駐屯地業務隊、留萌駐屯地業務隊、遠軽駐屯地業務隊、 旭川駐屯地業務隊、滝川駐屯地業務隊、 上富良野駐屯地業務隊、美幌駐屯地業務隊、 別海駐屯地業務隊、美唄駐屯地業務隊、釧路駐屯地業務隊、 岩見沢駐屯地業務隊、札幌駐屯地業務隊、 真駒内駐屯地業務隊、北千歳駐屯地業務隊、 東千歳駐屯地業務隊、帯広駐屯地業務隊、 鹿追駐屯地業務隊、北恵庭駐屯地業務隊、 南恵庭駐屯地業務隊、幌別駐屯地業務隊、 倶知安駐屯地業務隊、静内駐屯地業務隊、 函館駐屯地業務隊

対象機関等	
東北方面隊	<p>東北方面総監部、  第6師団、第9師団、  第2施設団、東北方面混成団、東北方面特科隊、  東北方面航空隊、東北方面後方支援隊、第5高射特科群、  東北方面通信群、東北方面会計隊、東北方面衛生隊、  東北方面指揮所訓練支援隊、東北方面情報処理隊、  東北方面総監部付隊、東北方面音楽隊、  青森駐屯地業務隊、弘前駐屯地業務隊、八戸駐屯地業務隊、  岩手駐屯地業務隊、霞目駐屯地業務隊、多賀城駐屯地業務隊、  大和駐屯地業務隊、仙台駐屯地業務隊、船岡駐屯地業務隊、  秋田駐屯地業務隊、神町駐屯地業務隊、福島駐屯地業務隊、  郡山駐屯地業務隊</p>
東部方面隊	<p>東部方面総監部、  第1師団、第12旅団、  第1施設団、東部方面混成団、東部方面航空隊、  東部方面後方支援隊、第2高射特科群、東部方面通信群、  東部方面会計隊、東部方面衛生隊、  東部方面指揮所訓練支援隊、東部方面情報処理隊、  東部方面総監部付隊、東部方面音楽隊、  霞ヶ浦駐屯地業務隊、古河駐屯地業務隊、  宇都宮駐屯地業務隊、相馬原駐屯地業務隊、  新町駐屯地業務隊、大宮駐屯地業務隊、習志野駐屯地業務隊、  木更津駐屯地業務隊、練馬駐屯地業務隊、  東立川駐屯地業務隊、立川駐屯地業務隊、座間駐屯地業務隊、  武山駐屯地業務隊、新発田駐屯地業務隊、高田駐屯地業務隊、  北富士駐屯地業務隊、松本駐屯地業務隊、  滝ヶ原駐屯地業務隊、駒門駐屯地業務隊、板妻駐屯地業務隊</p>

対象機関等	
中部方面隊	<p>中部方面隊總監部、  第3師団、第10師団、第13旅団、第14旅団、  第4施設団、中部方面混成団、中部方面航空隊、  中部方面後方支援隊、第8高射特科群、中部方面通信群、  中部方面会計隊、中部方面衛生隊、  中部方面指揮所訓練支援隊、中部方面情報隊、  中部方面總監部付隊、中部方面音楽隊、  金沢駐屯地業務隊、春日井駐屯地業務隊、守山駐屯地業務隊、  豊川駐屯地業務隊、久居駐屯地業務隊、今津駐屯地業務隊、  大津駐屯地業務隊、福知山駐屯地業務隊、  大久保駐屯地業務隊、八尾駐屯地業務隊、  信太山駐屯地業務隊、伊丹駐屯地業務隊、千僧駐屯地業務隊、  青野原駐屯地業務隊、姫路駐屯地業務隊、米子駐屯地業務隊、  出雲駐屯地業務隊、日本原駐屯地業務隊、  海田市駐屯地業務隊、山口駐屯地業務隊、徳島駐屯地業務隊、  善通寺駐屯地業務隊、松山駐屯地業務隊、高知駐屯地業務隊</p>
西部方面隊	<p>西部方面隊總監部、  第4師団、第8師団、第15旅団、  第2高射特科団、第5施設団、西部方面混成団、  西部方面特科隊、西部方面後方支援隊、  西部方面普通科連隊、西部方面通信群、西部方面会計隊、  西部方面衛生隊、西部方面指揮所訓練支援隊、  西部方面情報隊、西部方面總監部付隊、西部方面音楽隊、  福岡駐屯地業務隊、小倉駐屯地業務隊、飯塚駐屯地業務隊、  小郡駐屯地業務隊、久留米駐屯地業務隊、  相浦駐屯地業務隊、大村駐屯地業務隊、竹松駐屯地業務隊、  健軍駐屯地業務隊、北熊本駐屯地業務隊、  別府駐屯地業務隊、湯布院駐屯地業務隊、  玖珠駐屯地業務隊、えびの駐屯地業務隊、  都城駐屯地業務隊、川内駐屯地業務隊、国分駐屯地業務隊、  那覇駐屯地業務隊</p>
中央即応集団	

対象機関等

通信団、警務隊、中央情報隊、  
陸上自衛隊中央業務支援隊、陸上自衛隊中央会計隊、  
陸上自衛隊会計監査隊、陸上自衛隊中央輸送業務隊、  
中央音楽隊、中央管制気象隊、自衛隊情報保全隊、  
自衛隊体育学校、陸上自衛隊幹部学校、  
陸上自衛隊幹部候補生学校、陸上自衛隊富士学校、  
陸上自衛隊航空学校、陸上自衛隊施設学校、  
陸上自衛隊通信学校、陸上自衛隊武器学校、  
陸上自衛隊需品学校、陸上自衛隊輸送学校、  
陸上自衛隊小平学校、陸上自衛隊衛生学校、  
陸上自衛隊化学学校、陸上自衛隊高等工科大学  
陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊補給統制本部、  
自衛隊中央病院、自衛隊札幌病院、自衛隊仙台病院、  
自衛隊富士病院、自衛隊阪神病院、自衛隊福岡病院、  
自衛隊熊本病院、自衛隊別府病院、  
自衛隊札幌地方協力本部、自衛隊旭川地方協力本部、  
自衛隊函館地方協力本部、自衛隊帯広地方協力本部、  
自衛隊青森地方協力本部、自衛隊岩手地方協力本部、  
自衛隊宮城地方協力本部、自衛隊秋田地方協力本部、  
自衛隊山形地方協力本部、自衛隊福島地方協力本部、  
自衛隊茨城地方協力本部、自衛隊栃木地方協力本部、  
自衛隊群馬地方協力本部、自衛隊埼玉地方協力本部、  
自衛隊千葉地方協力本部、自衛隊東京地方協力本部、  
自衛隊神奈川地方協力本部、自衛隊新潟地方協力本部、  
自衛隊富山地方協力本部、自衛隊石川地方協力本部、  
自衛隊福井地方協力本部、自衛隊山梨地方協力本部、  
自衛隊長野地方協力本部、自衛隊岐阜地方協力本部、  
自衛隊静岡地方協力本部、自衛隊愛知地方協力本部、  
自衛隊三重地方協力本部、自衛隊滋賀地方協力本部、  
自衛隊京都地方協力本部、自衛隊大阪地方協力本部、  
自衛隊兵庫地方協力本部、自衛隊奈良地方協力本部、  
自衛隊和歌山地方協力本部、自衛隊鳥取地方協力本部、  
自衛隊島根地方協力本部、自衛隊岡山地方協力本部、  
自衛隊広島地方協力本部、自衛隊山口地方協力本部、

対象機関等
自衛隊徳島地方協力本部、自衛隊香川地方協力本部、 自衛隊愛媛地方協力本部、自衛隊高知地方協力本部、 自衛隊福岡地方協力本部、自衛隊佐賀地方協力本部、 自衛隊長崎地方協力本部、自衛隊熊本地方協力本部、 自衛隊大分地方協力本部、自衛隊宮崎地方協力本部、 自衛隊鹿児島地方協力本部、自衛隊沖縄地方協力本部

(2) 海上自衛隊

ア 隊員数

4, 646名

イ 対象機関等

対象機関等	
海上幕僚監部	
自 衛 艦 隊	自衛艦隊司令部
	護衛艦隊 護衛艦隊司令部、 第1護衛隊群、第2護衛隊群、第3護衛隊群、 第4護衛隊群、海上訓練指導隊群、 第11護衛隊、第12護衛隊、第13護衛隊、 第14護衛隊、第15護衛隊、 第1海上補給隊、第1海上訓練支援隊
	航空集団 航空集団司令部、 第1航空群、第2航空群、第4航空群 第5航空群、第21航空群、第22航空群、 第31航空群、第1航空修理隊、 第2航空修理隊、航空管制隊、機動施設隊、 第51航空隊、第61航空隊、 第111航空隊
	潜水艦隊 潜水艦隊司令部、 第1潜水隊群、第2潜水隊群、 第1練習潜水隊、潜水艦教育訓練隊
	掃海隊群、情報業務群、海洋業務・対潜支援群、開発隊群、 特別警備隊

対象機関等	
横須賀地方隊、呉地方隊、佐世保地方隊、舞鶴地方隊、大湊地方隊	
教育航空集団	教育航空集団司令部、 下総教育航空群、徳島教育航空群、 小月教育航空群、第211教育航空隊
練習艦隊、システム通信隊群、海上自衛隊警務隊、 海上自衛隊潜水医学実験隊、印刷補給隊、東京音楽隊、 海上自衛隊東京業務隊、 海上自衛隊幹部学校、海上自衛隊幹部候補生学校、 海上自衛隊第1術科学校、海上自衛隊第2術科学校、 海上自衛隊第3術科学校、海上自衛隊第4術科学校、 海上自衛隊補給本部、 自衛隊大湊病院、自衛隊横須賀病院、自衛隊舞鶴病院、 自衛隊呉病院、自衛隊佐世保病院	

### (3) 航空自衛隊

#### ア 隊員数

4, 853名

#### イ 対象機関等

対象機関等		
航空幕僚監部		
航空 総 隊	航空総隊司令部	
	北部航空方面隊	北部航空方面隊司令部、 第2航空団、第3航空団、 北部航空警戒管制団、 第3高射群、第6高射群、 北部航空施設隊、北部航空音楽隊
	中部航空方面隊	中部航空方面隊司令部、 第6航空団、第7航空団、 中部航空警戒管制団、 第1高射群、第4高射群、 中部航空方面隊司令部支援飛行隊、 中部航空施設隊、硫黄島基地隊、 中部航空音楽隊

対象機関等		
航空 総 隊	西部航空方面隊	西部航空方面隊司令部、 第5航空団、第8航空団、 西部航空警戒管制団、第2高射群、 西部航空施設隊、西部航空音楽隊
	南西航空混成団	南西航空混成団司令部、 第9航空団、南西航空警戒管制隊、 第5高射群、南西航空施設隊、 南西航空音楽隊
	航空救難団、航空戦術教導団、偵察航空隊、警戒航空隊、 作戦情報隊、作戦システム運用隊	
航空支援集団	航空支援集団司令部、 第1輸送航空隊、第2輸送航空隊、 第3輸送航空隊、航空保安管制群、 航空気象群、飛行点検隊、 特別航空輸送隊、航空機動衛生隊	
航空教育集団	航空教育集団司令部、 第1航空団、第4航空団、 第11飛行教育団、第12飛行教育団、 第13飛行教育団、航空教育隊、 飛行教育航空隊、教材整備隊、 幹部候補生学校、 第1術科学校、第2術科学校、 第3術科学校、第4術科学校、 第5術科学校	
航空開発実験集団	航空開発実験集団司令部、 飛行開発実験団、電子開発実験群、 航空医学実験隊	
航空システム通信隊、航空安全管理隊、航空警務隊、 航空中央音楽隊、航空中央業務隊、 幹部学校、補給本部、 自衛隊三沢病院、自衛隊岐阜病院、自衛隊那覇病院		

## 現場等確認・面談対象機関等一覧

## 1 陸上自衛隊

対象機関等	
陸上幕僚監部	
北部方面隊	第 5 旅団、帯広駐屯地業務隊、 第 7 師団、東千歳駐屯地業務隊、 北部方面後方支援隊、真駒内駐屯地業務隊
東北方面隊	第 6 師団、東北方面後方支援隊、 東北方面情報処理隊、神町駐屯地業務隊
東部方面隊	東部方面総監部、第 1 師団、 東部方面後方支援隊、朝霞駐屯地業務隊 宇都宮駐屯地業務隊
中部方面隊	第 1 0 師団、豊川駐屯地業務隊 第 1 3 旅団、 1 4 旅団、善通寺駐屯地業務隊
西部方面隊	第 2 高射特科団、 西部方面後方支援隊、西部方面会計隊、 西部方面衛生隊、西部方面音楽隊、 健軍駐屯地業務隊
中央即応集団	
西部方面警務隊	

## 2 海上自衛隊

対象機関等		
自衛艦隊	護衛艦隊	第2護衛隊群、第4護衛隊群、 第6護衛隊、第11護衛隊、第14護衛隊、 補給艦「おうみ」
	航空集団	第22航空群
	潜水艦隊	第2潜水隊群
	掃海隊群	
	開発隊群	
横須賀地方隊		
呉地方隊		
舞鶴地方隊		
海上自衛隊幹部候補生学校		

### 3 航空自衛隊

対象機関等		
航空 総 隊	北部航空方面隊	第2航空団、第3高射群
	中部航空方面隊	中部航空警戒管制団
航空支援集団		航空気象群、 千歳管制隊、千歳気象隊
航空教育集団		航空教育集団司令部、第1航空団、 第12飛行教育団、航空教育隊、 航空自衛隊幹部候補生学校